

あんばい ええまち かわにし創生 人口ビジョン(案)及び総合戦略(案)に係る

意見提出手続結果

- 1 意見募集期間 : 平成27年12月25日(金)～平成28年1月31日(日)
- 2 意見提出人数 : 3人
- 3 意見提出件数 : 38件
- 4 提出意見については別紙のとおりです。
お寄せいただいた意見は、それぞれの項目に分類し記載しています。
ただし、個人等が特定される箇所や内容が募集対象に合致しない意見については、記載していない場合があります。
- 5 意見提出者の氏名については、個人が特定されないことがないよう、
A～Cのアルファベット表記に変えて備考欄に記載しています。

意見 番号	意見の分類 (該当のページ、 項目など)	意見の内容	市の検討結果	提出者
1	人口ビジョン 全体	市の将来人口推計に当たり、本市の北部・中部・南部の地域や人口構成等の特性は、経年人口推移をベースとする中で加味されていると思いますが、人口の東京一極集中の是正の視点がどのように反映されているのでしょうかお伺いします。	本市の総合戦略の策定に当たっては、特に東京一極集中の是正という視点は反映しておりません。人口減少がもたらす課題を抽出した上で、課題を克服していくために、本市として取り組むべき方向性を取りまとめたところです。	A-1
2	人口ビジョン 【1ページ】 3-(1)グラフ	人口の推移グラフ中、右肩にある(千人)は、位置をやや右にずらし、人口軸に対する(人)ではないでしょうか。	ご指摘のとおり、右にずらします。	A-2
3	人口ビジョン 【1ページ】 3-(1)グラフ	「多田GH」とP2の表中「多田グリーンハイツ」は、他の例と同様の表現の取り扱いとする。	P1の表中「多田GH」を「多田グリーンハイツ」に改めます。	A-3
4	人口ビジョン 【5ページ】 (4) 2行目	「昼間人口指数」の次に、「(次表)」を付け加え解り良くされたらどうでしょうか。	人口ビジョン全般にわたる表記として、文章の後に根拠となる表やグラフを添付しており、文章中には、引用表記をしておりません。	A-4
5	人口ビジョン 【9ページ】 ②4-5行目	書き出しの明石市に準じて、神戸市も大阪市も、()書きを残し表記されたらどうでしょうか。	「神戸市(北区・長田区の合計)、大阪市(淀川区・北区・天王寺区の合計)」を「神戸市52人(北区・長田区の合計)、大阪市69人(淀川区・北区・天王寺区の合計)」に改めます。	A-5
6	人口ビジョン 【9ページ】 ②6行目	「多くなっています。」と言い切れると思います。	「多くなっていることが伺えます。」を「多くなっています。」に改めます。	A-6

意見 番号	意見の分類 (該当のページ、 項目など)	意見の内容	市の検討結果	提出者
7	人口ビジョン 【14ページ】 (9)3行目	特化係数の読み方や見方は、その下の表でコメントされていますが、特化係数とは何かの注釈がほしいです。	特化係数の注釈は、P 1 4 下段、「※修正特化係数とは」の注釈文章内に含めております。	A－ 7
8	人口ビジョン 【18ページ】 シミュレーション2	合計特殊出生率の推移（見込み）のグラフ中、2060年の本市合計特殊出生率2.0は、具体的な新たな施策が見当たらず現実離れしている感があります。県が2.0、国民希望出生率1.8としている。なお、現在は、市が1.29で、県の1.42、全国1.43より低い状況です。今回の重要なキーポイントですので、更なる熟慮の必要があると考えます。	合計特殊出生率については、近年の出生数の実績を踏まえながら、出生数1,000人を維持していくことを目標に置いた上で、5歳階級別の出生率などを細かく反映させながら推計した結果として算出された数値であります。 ご指摘の内容につきましては、真摯に受け止めるべきものであることは認識しており、単なる数字合わせとなることのないよう、目標として掲げた出生数1,000人の維持に向けて、しっかりと具体的な施策を展開していきたいと考えております。	A－ 8
9	人口ビジョン 【20ページ】 ③	「晩婚化」とありますが、「未婚率の高さ、晩婚化」の両方と思います。	「晩婚化が進んでいる」を「未婚率が高いことや晩婚化が進んでいることが影響している」に改めます。	A－ 9
10	人口ビジョン 【22ページ】 6-(1)④	「まちの構造の転換」とは何でしょうか。P21、5—④人口構造変化に伴う地域力の低下」を受けたものとすれば、少々言葉足らずの感が致します。	「高齢化の進展に伴う」を「人口減少が予測される中で、総人口の減少とともに、生産年齢人口や年少人口が減少し、高齢化が進展するという人口構造の変化に伴う」に改めます。	A－ 1 0
11	総合戦略 全体	この創生総合戦略は、事柄の重要性から、これまで市が策定してきた様々な計画や戦略と一線を画し、優先するものと思うが、どのように考えているのか。 なお、すでに策定済みの計画等は、着実なる推進が望まれており、とりわけ、行財政改革実行計画による強力な実行が必要である。	市では、10年間を計画期間として、市全体の総合的な施策展開、振興施策を示す総合計画を策定しており、この総合計画の実現に向けて施策展開を図ることが基本となります。 今回の総合戦略は、総合計画に基づき施策展開を図る中で、人口減少・超高齢化社会に着実に対応すべく、重点化して取り組むべき施策をとりまとめたものです。 なお、ご意見のとおり、行財政改革前期実行計画をはじめ、各個別計画についても、着実に推進してまいります。	A－ 1 1

意見 番号	意見の分類 (該当のページ、 項目など)	意見の内容	市の検討結果	提出者
12	総合戦略 【1ページ】 (1) 総合戦略策 定の趣旨	文中「まち・ひと・しごと創生法が制定されました。そして、創生法に基づき」の文言について、実施時期を明示するため、「まち・ひと・しごと創生法が制定、平成26年11月に施行されました。そして、同年12月に国では創生法に基づき、」としてはどうか。	「まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号。以下「創生法」という。）が制定されました。」を「まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号。平成26年12月2日施行。以下「創生法」という。）が制定、施行されました。」に改めます。 「そして、創生法に基づき、」を「平成26年12月に国では、創生法に基づき、」に改めます。	A-12
13	総合戦略 【1ページ】 (1) 総合戦略策 定の趣旨	文中「「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を決定し、（中略）人口の現状と将来の展望を提示する人口ビジョン及び」を、前段の繰り返しの説明を省略し、「まち・ひと・しごと創生総合戦略が閣議決定され、各地方自治体においても、これを勘案して「地方人口ビジョン」及び」に修正してはどうか。	法の趣旨を詳細に説明するため、重複した形で説明しております。	A-13
14	総合戦略 【2ページ】 体系イメージ図中	「まちの構造の転換」という意味がわかりにくいため、人口ビジョン（案）で申し述べた意見を受けたものとしてはどうか。	No.10の回答のとおりです。	A-14
15	総合戦略 【5ページ】 ②歩いて暮らせる まちづくり	タイトルと施策の展望や取組の中身がかみ合っていないのではないか。中身を反映したタイトルとするならば、例えば「交通利便で暮らしやすいまちづくり」としてはどうか。	「歩いて暮らせるまちづくり」を「人にやさしい交通体系」に改めます。	A-15
16	総合戦略 【7ページ】 ④魅力の創造・発 信	川西市の発信には欠かせない貴重な存在である川西市観光協会は、観光と切り離せない特産・商品部門も広く取り込み、活発な活動を期待したい。	市観光協会と連携しながら、市の魅力の発信に努めます。	A-16
17	総合戦略 【7ページ】 ④魅力の創造・発 信	「シティプロモーション」には、注釈があれば助かります。	具体的な施策の展開の文中、「シティプロモーション」を「シティプロモーション（市の魅力を積極的に発信する取組）」に改めます。	A-17

意見 番号	意見の分類 (該当のページ、 項目など)	意見の内容	市の検討結果	提出者
18	総合戦略 【7ページ】 ④魅力の創造・発信	取組内容に、外国人観光に対応する「多言語の啓発資材等の整備」が必要と思います。	今後の具体的な施策展開の中で、検討してまいります。	A-18
19	総合戦略 【8ページ】 ⑤安心安全のまちづくり	防犯カメラの設置は慎重に。場所や設置箇所の公表はするのでしょうか。	今後の具体的な施策展開の中で、検討してまいります。	B-1
20	総合戦略 【9ページ】 ⑥住環境の整備	取組内容中、「健康遊具等の公園遊具の設置【新規】」は、「公園に健康遊具等の設置【新規】」とし遊具の繰り返しを避けたい。→P13、P17に再掲あり。	「健康遊具等の公園遊具の設置【新規】」を、「公園の健康遊具等の設置【新規】」に改めます。 (P17の記述も同様)	A-19
21	総合戦略 【11ページ】 ①結婚支援	「合計特殊出生率の低下」との文言は、20代に対比して「市全体の」を入れて読みやすくする。	「合計特殊出生率の低下」を「市全体の合計特殊出生率の低下」に改めます。	A-20
22	総合戦略 【11ページ】 ①結婚支援	重要業績評価指標「25-29歳」は、人口ビジョン(案)の区分と合わせ、「20-29歳」としてはどうか。	「25-29歳」を「20-29歳」に改め、現状値の「男性：72.6%、女性：66.2%」を「男性：83.8%、女性：78.7%」に、目標値「男性：70.0%、女性：65.0%」を「男性：83.0%、女性78.0%」に改めます。	A-21
23	総合戦略 【11ページ】 ①結婚支援	取組内容に、人口減に歯止めをかけるため「市営住宅等の新婚家庭優先入居枠の拡充」を追加してはどうか。	今後の具体的な施策展開の中で、検討してまいります。	A-22

意見 番号	意見の分類 (該当のページ、 項目など)	意見の内容	市の検討結果	提出者
24	総合戦略 【13ページ】 重要業績評価指標	保育所待機児童数31人とあるがいつの時点ですか。最近の報告で216人と聞いたが、その差はなぜでしょうか。	31人とは、平成26年4月1日現在の待機児童数で、ご意見の216人は平成27年11月1日現在の待機児童数となります。 待機児童数は、毎年度4月には進級等により空きが生じるため最も少なくなります。年度途中には就職や産休・育休取得後の職場復帰に合わせて随時入所申請があり、定員に空きがなければ待機児童数が累積され、年度末に向けて増加することとなります。 これと併せて、平成27年4月から国基準の待機児童の数え方が、求職中による保育施設入所申請者の子どもを含むように改正されたため、平成26年度以前の待機児童数よりもさらに人数が増えております。	B-2
25	総合戦略 【13ページ】 ③子ども・子育て支援	健康遊具は子どもの遊具なのか、大人の器具なのか業者任せの選択にならないように希望します。	子ども・子育て支援に係る取組みでありますので、「健康遊具等の公園遊具の設置【新規】(再掲)」を「公園の児童遊具等の設置【新規】(再掲)」に改めます。	B-3
26	総合戦略 【13ページ】 ③子ども・子育て支援	高齢化を迎え、市の財政、経済をさらに改善するには、高所得層の比較的若い世代を他の地域から呼び込む必要がある。 具体的な政策として ① 乳幼児医療費助成の所得制限は、少なくとも小学校高学年まで排除し、所得の高い若い世代を呼び込み、税収を上げる、そのためのマーケティング戦略を強化すべきである。 ② 幼稚園、保育所の保育料も、周辺地域(池田、豊中、伊丹)や姉妹都市香取市と比べると高額であり、市の税収として大きなメリットとなる高所得層を呼び込む上で、保育料の見直しは急務である。 ③ 女性の雇用を増やす上でも、中学校の給食導入は欠かせない。 など、川西市は子育て施策として遅れをとっているというのが私の感覚である。 川西市も、自然のゆたかさは、他の地域には作れない素晴らしい点だが、それだけでは高所得層は呼べない。 子育て支援を限りなく充実させ、自然と共存したゆとりある生活と、安心して子育てができる環境を両立させ、未来に希望のもてる川西市を作り上げていただきたい。	子育て支援の充実、総合戦略に基づき施策展開を図っていく上では重要なポイントであることは、ご指摘のとおりであります。給付的な施策に係る高所得者に対する支援については、慎重に考えていく必要があります。 ご指摘の内容も踏まえ、子育て支援の具体的な施策展開の中で検討してまいります。	C-1
27	総合戦略 【14ページ】 ④教育環境の充実	評価指標中、上段の中学生の目標値は、H26年と同率ですが、魅力ある学校づくりに向け改善の努力が大切です。	ご指摘の指標は、現在総合計画で設定している指標であるため、総合計画の指標として見直す段階で改めます。	A-23

意見 番号	意見の分類 (該当のページ、 項目など)	意見の内容	市の検討結果	提出者
28	総合戦略 【15ページ】 ⑤女性が働きやす いまちづくり	「働きながら子育てをする女性」を「共働きで子育てをする家庭」に修正す べきと考えます。	共働きということを含めて、働きながら子育てをする 女性が増加している中で、特に女性に焦点をあてて支援 をしていくことが求められている状況に鑑み、「働きな がら子育てをする女性」との表記をしております。	B－ 4
29	総合戦略 【15ページ】 ⑤女性が働きやす いまちづくり	「子育て中の女性が・・・」ではなく、「子育て中の男性・女性が・・・実施 します。」に、「家に居ながらも・・・」を「女性が家に居ながらで も・・・」に修正すべきと考えます。	共働きということを含めて、働きながら子育てをする 女性が増加している中で、特に女性に焦点をあてて支援 をしていくことが求められている状況に鑑み、「子育て 中の女性」との表記をしております。	B－ 5
30	総合戦略 【15ページ】 ⑤女性が働きやす いまちづくり	女性が働きやすい環境は、男性の理解と協力が必要なので、男女共同参画カ レッジの講座に、男性対象の講座を設けてください。	ご指摘の内容を踏まえて、検討してまいります。	B－ 6
31	総合戦略 【15ページ】 ⑤女性が働きやす いまちづくり	具体的な施策の展開として、「子育て中の男女が働きやすくするために、職場 はワークライフバランスなどを取り入れ、働き方を見直す。」という項目を追加 してください。	ご指摘の内容は重要なことであると認識していま すが、各事業者に任される部分も大きいと考えており、具 体的な施策展開の中で、事業者への啓発についても検討 してまいります。	B－ 7
32	総合戦略 【17ページ】 ①健幸づくりの推 進	評価指標に、早期発見・早期治療の重要性から「市民の一般・検診受診率」の 項目を加え、併せて取組内容には、「健康寿命延伸のための検診などの予防事業 の拡充」を入れることが重要と考えられます。	ご指摘の評価指標については、がん検診においては、 市保健センターや市が委託する医療機関のみのデータで あることや特定健診においては、市国民健康保険のみの データとなるなど、統一性のないデータとなることか ら、今回は指標に掲げておりません。 取組内容については、主な取組内容を記載しており、 今後の具体的な施策展開の中で検討してまいります。	A－ 2 4
33	総合戦略 【18ページ】 ②自主的な地域づ くり	評価指標中、249団体とは、どの範囲か。	ご指摘の団体とは、市内コミュニティ組織の構成団体 として、参加している団体を指しています。	A－ 2 5

意見 番号	意見の分類 (該当のページ、 項目など)	意見の内容	市の検討結果	提出者
34	総合戦略 【20ページ】 (4)基本目標 4	数値目標の指数には、事業所数のほか、「市内従業員数」を入れる必要があるのではないか。	「市内就業率（人）」を数値目標として追加し、現状値を「47.4%（H 2 2）」、目標値を「50.0%」とします。	A－2 6
35	総合戦略 【22ページ】 ②新たな仕事と雇 用の創出	評価指標に「新規事業所数」を追加してはどうか。	事業所数は、経済センサスにより把握している統計数字ですが、新規事業所数を把握することはできないものとなっています。	A－2 7
36	総合戦略 【22ページ】 ②新たな仕事と雇 用の創出	新たな仕事と雇用の創出では、東京人口一極集中を是正の一環として、新名神高速道路の整備に合わせ、市として、企業立地の誘致を進めてもらいたい。	新名神高速道路の開通に伴い新たな交通の玄関口が生まれることを機に、観光や産業の活性化など、市の魅力の創造、発信について検討してまいります。	A－2 8
37	総合戦略 【24ページ】 3 まちづくりの主 体の役割	市民公益活動団体の期待される役割中、「人口減少社会に対応した取り組みを展開します。」は、団体に役割と責任を押し付けることとなるので、削除すべきではないか。 市民の役割に記載のある「積極的な取り組みの展開が期待されます。」が適切な表現であると考えます。	人口減少社会を迎えるにあっては、持続可能なまちづくりを進める上で、地域の活性化が欠くことのできないものであり、現在市が進めている地域分権による行政と地域の役割分担を踏まえ、記載しております。	A－2 9
38	総合戦略 【24ページ】 4 総合戦略の進行 管理	「アンケート結果から見えてくる傾向」とありますが、具体的にどのようなことか。そもそも今の段階でアンケート結果の公表がなぜないのでしょうか。何のためのアンケートか理解に苦しみます。この戦略策定にどう生かされているか全く不明です。アンケートに答えられた市民・事業者等には、どう説明をされるつもりですか。アンケートの取りっぱなしですか。	アンケートについては、審議会の中で、お示しし、内容を踏まえた議論をいただくなど、基礎資料として活用しています。 さらに、今後の総合戦略を展開する中で、アンケート結果の傾向分析を踏まえた、施策を展開することとしております。 なお、当総合戦略の製本時には、人口ビジョンと総合戦略、アンケート報告書までを1冊にまとめる予定です。	A－3 0